

住友化学 i-農力だより

<http://www.i-nouryoku.com/index.html>

第103号 平成25年7月31日
発行 住友化学(株) アグロ事業部
お客様相談室 0570-058-669
編集者 太田有香
発行責任者 南 圭三郎

目次

農家さん訪問記 (87) 【北海道・ねぎ】・・・	p.1
住友化学アグログループ紹介 レインボー薬品(株)・・・	p.5
新 西南暖地のおいしい枝豆栽培方法(その1)	p.6
食の安全性について考える(35)	
【23:植物成長調整剤の作用】・・・	p.8
今月のお奨め農薬	
【ベストガード粒剤・ダントツ粒剤・ディアナSC】	p.10
お役立ちプチ情報【害虫の姿その4:稲の害虫】	p.12
農薬登録情報・・・	p.13
ひまわり農園奮闘記	p.14
新 お便り募集・・・	p.15
編集後記・・・	p.15



ホシガラス(カス科)とハイマツ(マツ科)
富樫 信樹 画

農家さん訪問記(87)

冷涼な気候を活かした長ねぎ栽培



外山正彦さん

今回は北海道北斗市で長ねぎを専門に栽培している外山正彦(ソトヤマ マサヒコ、55歳)さんを訪ね、ねぎ栽培の様子、栽培のご苦労などについてお話をうかがいました。(取材日:6月21日)

北斗市は北海道渡島半島南部に位置し、東は函館市に隣接しています。市内の旧大野町は「北海道水田発祥の地」として知られていますが、昭和40年代から始まった米の生産調整により畑作・園芸野菜や畜産業との複合経営が進み、早くから野菜作りに取り組んでいました。

長ねぎは発芽適温が15~20、生育適温も20前後で、冷涼な気候を好む作物です。北斗市のある道南地域の夏は「ヤマセ」の影響で比較的冷涼で、長ねぎの栽培に適した気象条件です。北斗市の長ねぎ栽培は全道一の作付面積で、市内の野菜生産の半分を占めているそうです。

思い切り良く、いちご栽培から長ねぎ栽培へ

外山正彦さんは昭和57年(1982年)25歳の時に農業後継者として就農しました。当時外山家はいちご栽培専門の農家でした。当時のいちごの品種は宝交早生でしたが、出荷最盛期の1ヶ月間は出荷調整が深夜までかかり、また翌日は早朝から収穫を始めるという睡眠時間も十分にとれない重労働でした。このため、労働時間の調整が可能な長ねぎ栽培に切り替えました。長ねぎは雨が降りそうな時には、早めに収穫して倉庫に保管し、後で出荷調整ができます。外山家の農業はお父様の時代に稲作専業からいちご栽培専業に、そして長ねぎ栽培専業へと切り替えました。非常に思い切ったものと感心します。

現在、外山さんの長ねぎの栽培面積はハウス栽培(12棟)と露地栽培の合計で約1町歩(1ha)です。他にいちごを栽培しているハウスが1棟あります。これは「以前にいちご栽培をしていた」という思い出を残すため、収穫したいちごは親戚への贈り物にしています。

外山さんには子供さんが4人いますが、上の娘さん二人は既に嫁いでいるので、現在のご家族はご両親、奥様(ひとみさん、54歳)、三女(麻子さん、22歳)、長男(昇吾さん、中学2年生)の6人です。農作業は主に外山さん、奥様、麻子さんの3人でしています。

パートの女性を4人雇用して、忙しい期間(約6ヶ月)に主に出荷調整作業をしてもらっています。

外山さんは北斗市野菜生産組合のねぎ部会長をしています。ねぎ部会のメンバーは127名で栽培面積の合計は94町歩(94ha)です。平均のねぎ栽培面積は6~7反(60~70a)で、外山さんの栽培面積約1町歩(1ha)はねぎ部会のメンバーの中では中くらいだそうです。北斗市の長ねぎの栽培面積は減少傾向ですが、これは高齢化と北海道新幹線工事に伴う立退きなどによる農家数の減少のためです。



長ねぎの栽培ハウス群

高品質の長ねぎは適期栽培で

外山さんが今年栽培しているねぎの品種は「北の匠」、「関羽」など3品種です。品種は棚持ちの良さなどの市場の評価と耐病害虫特性などで選んでいます。外山さんは以前基準品種の「元蔵(もとくら)」を栽培したことがありますが、襟の部分(葉と軟白部を結ぶ部分)のしまりがゆるく、市場の評価が低かったため、現在の品種に変えたそうです。品種によって栽培適期が微妙に違い、適期に栽培しないと折角の品種特性が発揮されません。

ハウス栽培では播種は10~11月に行い、苗の定植は2月頃、収穫は6月頃です。露地栽培ではトンネル栽培や農業用不織布(“パオパオ”)のべたがけ栽培などを行なっています。

播種は1月末~2月中旬、定植は4月中旬頃、収穫は7月末~8月初めです。外山さんは播種日、定植日をノートにも付けていますが、頭の中に年間の栽培カレンダーが出来ていて、



土寄せされた長ねぎが整然と・・・

何時どんな作業を行なうか思い浮かぶそうです。プロ農家であれば当然のことかもしれませんが、品種特性を十二分に発揮させる栽培技術は、素人には驚きです。

収穫量は 700~800 箱^{*)} / 1 反 (10a) です。外山さんは収穫した長ねぎ全量を JA に出荷しています。箱には「函館育ち」のブランド名と生産農家の名前が印刷されていて、関東・関西方面に流通しています。

価格は内地（都府県）価格と関係しますが、お盆前は価格が良いそうです（現在は端境期で、1 箱当り 2000 円以上と良い価格です）。1 箱当りの価格が 1500 円以下になると採算割れになります。

^{*)} 1 箱には L サイズが 45 本（3 本/把×15 把）入ります。



土寄せ機械



ブランド名：函館育ち



生産者名入りです

土作りを第一に、特別栽培でねぎを生産

外山さんは減農薬、減化学肥料の特別栽培でねぎを栽培していますが、最も重視しているのは土作りです。そのため、堆肥は自家製堆肥にこだわっています。購入堆肥も使用しますが、



収穫用機械

どんな雑草が生えてくるか性質が不明なため、自家製堆肥に混ぜて使用します。堆肥は 12 月に 2 回、堆肥散布機 2 台分を撒きます。外山さんは今年ハウスに当社の肥料を使用しましたが、施肥回数が減らせるので非常に気に入っていると褒められました。

長ねぎ栽培での主な害虫はアザミウマとネキリムシ、病害は軟腐病と根腐病です。虫の被害は特に露地栽培で多いそうです。雑草は手取り除草が主体で、除草剤はあまり使っていません。

現在の難問は連作障害

現在長ねぎ栽培の最も大きな問題は連作障害です。圃場に残ったねぎの残渣に病害虫が残り、特に軟腐病は大きな問題です。3 年前から長ねぎ栽培農家の仲間数人と、道南農業試験場、普及センターの協力を得て、対策検討プロジェクトを立ち上げ、薬剤使用がよいか、はとむぎ、エンバク、ひまわりなどの輪作がよいかなどの対策を検討しています。

釣り と パチンコ で リフレッシュ



麻子さん 正彦さん ひとみさん
(外山ファミリー)

最後に休みの過ごし方、趣味について伺いました。

ねぎの栽培期間中は定期的な休みはなく、その日の天気です。長ねぎ栽培の農閑期は冬期と収穫が始まる前の5月ですが、特別な行事(旅行など)を行なうことは決めていないそうです。

外山さんの趣味は釣りとパチンコです。訪問した日の翌日にも釣行予定があるとのことでした。パチンコには時々ご家族でも出かけるそうで、健全娯楽の雰囲気です。写真を撮らせていただくために奥様と麻子さん

にもお会いしました。屈託のない笑顔のステキなお二人で親子?いや、姉妹のような印象でした。外山さんの優しい笑顔からもご家族が仲良しで楽しく農作業をしているのだろうなあ〜と想像できました。

取材で一番残念だった事は、ねぎの収穫前だったので、箱に詰められたねぎを見ることが出来なかった事です。

取材日はどんよりとした曇り空で空気も冷たかったのですが、外山家の皆さんはとても明るくて寒さを吹き飛ばしてくれた感じでした。

今回の農家さん訪問記は㈱コハタ道南営業所のご紹介で実現しました。ご協力どうもありがとうございました。

あとがき

ひと通りお話を伺ったあと、ハウス内のねぎを見せていただきました。整然と植えてあるねぎに圧倒されました。露地では、ねぎの根元に雑草が生えていました。あの雑草を手で抜く作業は相当に大変だろうと思ったのですが、なるべく農薬に頼らないという信念のため、大変でも頑張っているとのことでした。(鳥取、手塚)




露地栽培のねぎ



[目次へ戻る](#)

住化アグログループご紹介

 レインボー薬品株式会社

夏のこまった雑草たちの退治方法

梅雨～夏にかけての雑草は、どんどん伸びるこまった存在です。草丈も大きくなり、除草剤もその植物に合った物を使わないと、うまく効果が出ないことがあります。今回は夏の代表的な強い雑草 および、その雑草を退治するのに適した除草剤をご紹介します。



ススキ

とても大きく繁殖力の強いイネ科植物。群落を形成する。
オススメ除草剤：



チガヤ

背丈は大きくないが、地下茎を張り巡らせ広がっていく。白い穂が特徴。
オススメ除草剤：



セイタカアワダチソウ

黄色い花と高い背丈が特徴。大きくなると粒剤タイプが効きづらい。
オススメ除草剤：



ドクダミ

独特の臭いの雑草。根が非常に深く張り、駆除が困難。粒剤は効きにくい。
オススメ除草剤：



スギナ

旺盛に地下茎で広がる雑草。地下茎が深く張る。春に出るツクシの本体。
オススメ除草剤：



竹

管理ができなくなると、爆発的に生育場所を広げる。
オススメ除草剤：

～ オススメの除草剤 ～



ネコソギクイックプロ FL

薄めて使う除草剤。
2種類の成分で雑草を素早く、根まで枯らします。
農耕地でも使えます。
竹を枯らす場合は、竹の節と節の間に穴をあけ、原液を注入してください。



ネコソギトップ粒剤

パラパラ撒くだけの除草剤で、4～6ヶ月の長期間雑草を抑えることができます。
ササやススキにも効果があります。
ススキには株もとに15gを直接散布します。



ネコソギエース X 粒剤

パラパラ撒くだけの除草剤で、4～6ヶ月の長期間雑草を抑えることができます。
スギナに対してよく効く成分を配合しています。



ネコソギWクイック

発芽を抑えるフルミオキサジンと根まで枯らすグリホサートを含む微粒タイプの除草剤。
雨などで濡れた雑草の葉にかけて枯らします。しつこいドクダミにも効果があります。

薬剤ごとに使用時期・使用方法は異なります。
製品ラベルをよく読み正しくお使いください。
の除草剤は雑草の草丈が20cm以下のときにご使用ください。
20cm以上の場合、 の除草剤を用いるか、草を刈った後にご使用ください。

レインボー薬品株式会社
東京都荒川区東日暮里6-60-10
お問い合わせ TEL 03(6740)7777 平日9:00～17:00(土・日・祝日は休み)
URL : <http://www.rainbow-f.co.jp>

西南暖地 のおいしい枝豆栽培方法(その1)

西南暖地・・・ここでは静岡を含めた東海地方以西を指します。

住友化学アグロ事業部 技術顧問 牧野孝宏

1. はじめに

枝豆は、江戸時代から栽培が始まったと言われていますが、未熟の大豆を食べる習慣は外国では見られず、日本独特の食文化です。梅雨が早くあけて急激に猛暑となり、ビールと共に枝豆の季節となりました。しかし、ピヤガーデンで出す枝豆がしばしば冷凍物で、おいしくないのもよく知られているのではないのでしょうか。そこで、今回は、枝豆を西南暖地で栽培して、比較的早めに出荷して消費者の皆さんに提供する方法を考えてみました。

西南暖地で、早い時期の枝豆栽培が少ないのは、今まで食べる習慣があまりなかったのも事実ですが、それ以前に害虫の被害が多くて、作付けしても十分な収量が得られなかったことが大きいと思われます。第1回は、おいしい品種と時期別栽培体系についてお伝えします。



静岡県浜松市（中島氏圃場）

2. おいしい品種

おいしい品種と一口に言っても、どういう性質のものがおいしいのかわかりませんね。そこで、糖とアミノ酸について見てみましょう。図1は、枝豆品種の糖とアミノ酸を比較したのですが、枝豆品種は、豆腐等に用いる普通ダイズに比べて、糖分が多く、またアミノ酸も多く含んでいます。特に、おいしいと言われるだだちゃ豆（香り、庄内1,3,5号）は、他の枝豆品種の3%前後に比べて、糖含量やアミノ酸含量が高く品種によっては重量の5%前後に達します。このため、甘くてコクがあり、おいしく感じるのです。

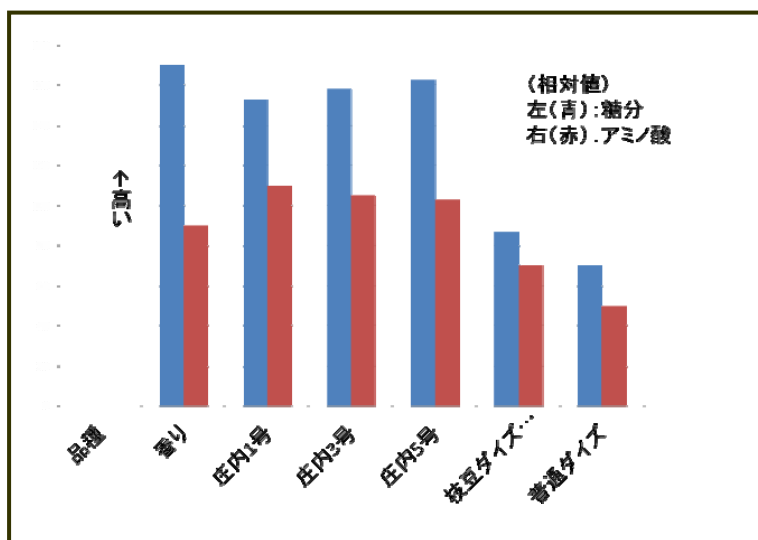


図1 枝豆品種の糖とアミノ酸の比較

比較のために、静岡県浜松市で、おいしいと言われる枝豆約50種の品種について時期を変えて栽培してみました。味を独断と偏見で評価すると、おいしい順に、だだちゃ豆系の庄内5号、1号、3号でした。また、枝豆ダイズの中にも、だだちゃ豆を凌駕する品種、やや劣るものの十分おいしい湯上がり娘など数種がありました。適切な肥培管理と農薬散布により、西南暖地でも、おいしい枝豆が生産できることを証明できました。

3. 暖地における栽培体系

現在枝豆の主要な産地のうち、6,7,8,9月の夏季は、新潟を除けば、山形、千葉、群馬、埼

玉等、北海道を含め、東北・北関東の冷涼地域です。これらの地域は、チョウ目やカメムシの被害が、西南暖地に比べて遙かに少なく栽培に適しています。一方、冬から春にかけては、台湾、中国からの冷凍された輸入物がほとんどを占めています。そこで、図2のように、花見シーズンの4月から七夕、お盆のシーズンに向けて、西南暖地での時期別栽培体系を考えてみました。

図2 西南暖地における枝豆の時期別栽培体系

作型	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	備考
パイプハウス				←→		←→							湯上がり娘 庄内1号
トンネル		○	○		←→	←→							庄内3号 湯上がり娘
露地 (マルチ) 露地			○			←→	←→	←→					湯上がり娘、庄内 1、3、5号、チャ ッコロ姫、丹波黒
露地 (直播)				○		←→		←→					湯上がり娘、庄内 1、3、5号、チャ ッコロ姫、丹波黒

○ 播種、△ 移植、 ←→ 収穫

早い時期から順に、パイプハウス、トンネル、露地マルチ、露地と栽培を進めて行きます。2月の育苗には、低温障害を防ぎ、根の発根を促進するため、加温すると良いでしょう。様々な作型で、10日間隔で播種し、10月下旬まで间断なく収穫します。西南暖地でこの体系が普及すれば、おいしい枝豆を適切な価格で、長期間にわたって消費者に提供できるものと思われます。次回は、害虫防除に最適な農薬と時期に合った肥培管理についてお話しします。



写真：庄内3号（播種3月25日、開花6月3日、7月7日～収穫）

[目次へ戻る](#)

食の安全性について考える(35)

②③ 農薬の作用メカニズム（植物成長調整剤の作用）

農薬を取り扱うにあたり、大きな3つの安全性が問われることになる。

第1は、農薬の取扱者すなわち農薬の製造、散布作業などに従事しているものが被害にあう場合。第2に、農薬が作物に残留し、それが摂取されて人体に影響を及ぼす場合。第3に、農薬が自然環境や生態系に及ぼす影響などについてである。特に、近年は環境運動の高まりとともに農薬への関心も一段と強まっている。それらのことを踏まえ、農薬の安全性について、わかりやすく解説した農薬工業会編「なるほど！ なっとく！ 農薬Q&A」をしばらく掲載したい。(古津)



挿絵：加藤さん

Q：種なしブドウを作るためにも農薬が必要なのですか。

A：種がないブドウは、植物ホルモンの一種「ジベレリン」を使って種ができないようにしています。このように作物の成長を人為的にコントロールして、付加価値を高めたり収量を増やしたりする目的で使われる農薬を「植物成長調整剤」と言います。植物成長調整剤には、農作業の省力化に役立つものも開発されています。

植物成長調整剤の多くはジベレリンのように植物ホルモン作用をもつ物質か、反対にその作用を抑制する物質が主な成分です。たとえば、作物の発根促進、成長促進、果実の肥大、種なし化、開花促進、あるいは作物の草丈を抑えて形を整えたり、イネの倒伏を軽減したりする作用などです。植物成長調整剤を使って、成長や生育過程に変化を与えることを植物の化学調節と呼び、重要な栽培技術になっています。

以下に、植物成長調整剤が役立っている使用場面のいくつかを記述します。

○種なしブドウ栽培や、開花促進技術に○

種があると食べづらいことから、種のないブドウを求める消費者ニーズに応えるため、種なしブドウ作りには植物成長調整剤が役立っています。デラウェアから始まったジベレリン処理などによる種なし化の成功から、様々な品種に植物成長調整剤が応用され、種なし化と同時に早熟化、巨大化にも成功し伊豆錦、藤稔など、ゴルフボール大の種なしブドウも出現しています。現在の消費者の人気品種の主流は巨大粒～大粒品種で、種なし、または種なし化が可能な品種であることが重要とされており、ブドウ作りには植物成長調整剤は今後も欠かせないものとなっています。

種なしブドウ作りはジベレリンを使って以下のように行います。植物の雌しべの根元にある子房は、受粉すると中に種子ができ肥大を始め果実に育ちます。ブドウでは、花粉の代わりにジベレリンを与えても子房が肥大して果実になります。しかし、受粉をしていないので中に種はできません。実際には4月末から5月初めの開花2週間前頃に、ジベレリンの水溶液にブドウのつぼみを漬けます。これが種なし処理です。さらに花が咲き子房ができてきた頃、再び子房をジベレリンの水溶液に漬けます。これが果実の肥大をよくするための開花後処理です。

ジベレリンには植物の茎を伸ばす作用もあり、開花を促進して出荷を早めることができます。たとえばシクラメンでは9月上旬から10月上旬、つぼみが1cm位になったところでジベレリンを花蕾含む芽の中心部に散布すると、開花が2週間程度早まり、11月初めには出荷できるように

なります。

○鉢物栽培技術にも○

鉢物栽培にも植物成長調整剤が役立っています。例えば、植物の伸びを抑える植物成長調整剤は、わい化剤と呼ばれています。わい化剤とは、前述のジベレリン生合成系を特異的に阻害する物質を農業に利用したものです。鉢植えのきくでは芯を摘んだあと10日位で、葉や茎にわい化剤の一種、ウニコナゾールPの水溶液をスプレーしたり、鉢のなかに注入したりすると茎の節間の伸びが抑えられます。このようなわい化剤を使うと、花や葉の大きさはほとんど変わりませんので、草丈が低く小さなスペースに花や葉が密集し、ボリューム感が出ることとなります。わい化剤はこのように鉢物栽培に広く使われています。

○収量の安定したお米づくりにも○

米の生産にも植物成長調整剤が役立っています。おいしい米の代表、コシヒカリとその系統の品種は草丈が高くなり、収穫期になると穂が重いため倒れやすくなります。倒れたイネはコンバインによる刈り入れが困難になりますし、穂が水分を吸って発芽すると食用にならなくなります。これを防ぐための手段の一つとして、植物成長調整剤の一種で、ジベレリン生合成系を特異的に阻害するトリアゾール系わい化剤である、ウニコナゾールPやパクロブトラゾールなどが「倒伏軽減剤」として使われます。ウニコナゾールPでは出穂10~25日前、パクロブトラゾールでは出穂7~20日前に処理することによって、イネの節間を短縮し草丈の伸びを抑え重心を低くして倒れにくくします。

なお、上記の植物成長調整剤は植物ホルモンか植物ホルモン様物質が主な成分ですが、それらは農薬として登録されています。

参考資料

- *高橋信孝『農薬科学』1979、文永堂出版
- *日本植物防疫協会『農薬概説』
- *ブドウ品種解説、2000 植原葡萄研究所
(2008年8月)



挿絵：加藤さん

[目次へ戻る](#)

今月のお奨め農薬

ネギアザミウマの防除に

ベストガード粒剤、ダントツ粒剤、ディアナSC

ネギアザミウマはねぎ、たまねぎの大害虫で、これまで他の作物には大きな被害を起こしていませんでした。しかし、最近ではきゅうり、キャベツ、えんどう、アスパラガスなどの野菜類、かんきつ、かきなどの果樹類、ダリア、カーネーションなどの花き類に被害が広がっています。また、ネギアザミウマの被害は、葉の食害だけでなく、アイリス輪紋ウイルス（IYSV）やトマト黄化えそウイルス（TSWV）を伝播して、多くの種類の植物にえそ斑点などを生じさせます。さらに、各種殺虫剤に抵抗性系統が現われ、その発生量が増加傾向です。遺伝子解析の結果、これらは国外から侵入した系統の可能性があるとされています。

ねぎ類でのネギアザミウマの被害は、成虫や幼虫が葉身の表層を食害し、葉鞘に白くかすり状の食害痕をつけ、品質を低下させます。虫は小さくて肉眼では見つけにくいですが、被害部の小黄白斑で容易に判別できます。



ネギアザミウマの成虫は体長約**1.5mm**の棒状の細長い虫で、羽があり、体色は淡黄色～暗褐色です。幼虫は体長約**1mm**で成虫に似た形ですが、羽がありません。卵は寄主植物の組織内に産み込まれます。幼虫は葉茎上で寄生生活し、根際で蛹になります。冬期はねぎ類の根際や草むらに潜んで成虫で越冬します。春先の気温の上昇と共に活動が活発になり、ねぎへの被害が目立ち始めます。年に**5～10**世代を繰り返す、夏期には**2～3**週間で成熟成虫になります。

ネギアザミウマの防除は殺虫剤散布による化学的防除が主体になります。



ネギアザミウマ成虫

【殺虫剤使用のポイントは次の通りです。】

- ① 多発してからの防除は困難なので、早期発見・早期防除に努めます。
ネギアザミウマは好適条件下（生育適温は**25℃**）では急激に生息数が増加します。ネギアザミウマは微小昆虫で肉眼で確認するのは難しいため、葉身を観察して、食害痕で発生状況を確認します。あるいは、粘着トラップを用いて発生の確認をします。
- ② 薬剤抵抗性対策で、作用機作の異なる薬剤のローテーション散布を励行します。
ネギアザミウマは世代交代が早く、薬剤に対する抵抗性を獲得する可能性が高い害虫です。
- ③ 定植時および土寄せ時の粒剤施用と散布剤を組み合わせた防除をします。
- ④ 育苗ほ場での発生も多いため、は種時からの防除を心がけます。
苗床などでは土壤中に生息する蛹から成虫が羽化するので、よく観察し、必要に応じて薬剤散布を行います。

ネギアザミウマ防除に[定植時]にはベストガード粒剤（植溝処理土壌混和）、[露地栽培ねぎの土寄せ時]にはダントツ粒剤（株元散布）、また、[茎葉散布剤]にはディアナSCの使用をお奨めします。

なお、ベストガード粒剤は平成25年5月29日付けで、「定植当日のセル成型育苗トレイ、またはペーパーポットの上から散布」が適用拡大登録になりました。

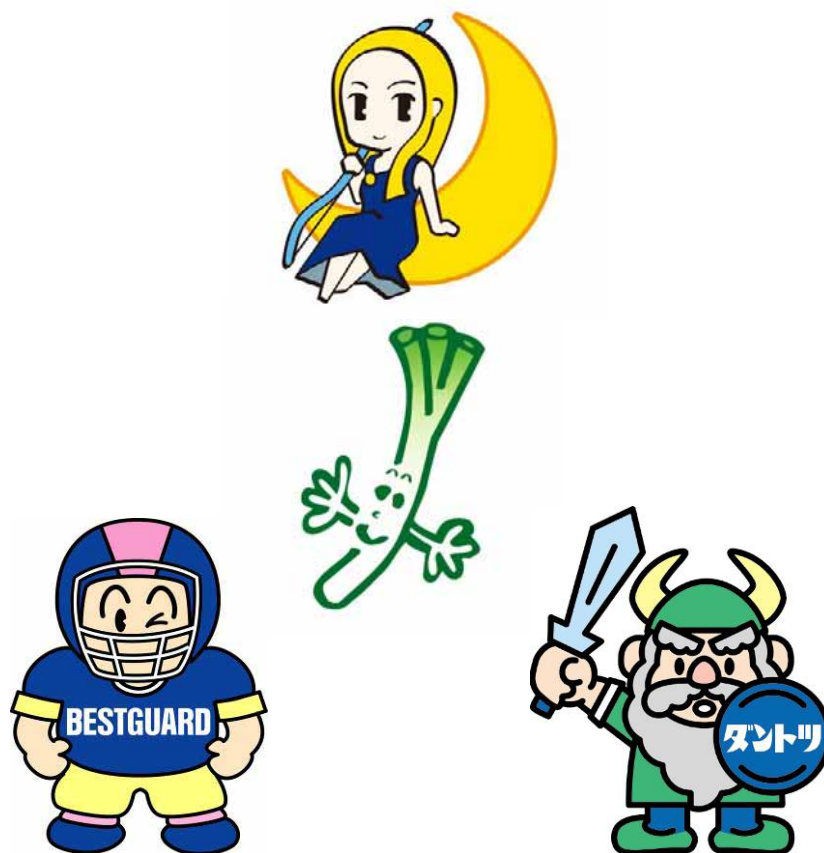
・「ベストガード粒剤」、「ダントツ粒剤」はネオニコチノイド系殺虫剤で優れた浸透移行性と効果の持続性があります。吸汁性害虫に特に効果が高く、効果の持続期間は約40日の試験事例があります。

・「ディアナSC」はスピノシン系殺虫剤で食毒と接触毒作用でアザミウマ目害虫をはじめ、チョウ目害虫、ハエ目害虫、コナジラミ類などの幅広い害虫に高い効果があります。

【耕種的防除には次のような方法があります。】

- ① ネギアザミウマの寄生植物が多岐にわたるので、ほ場周辺の雑草管理を徹底します。
ほ場周辺に植えた自家用野菜や花き類も発生源になりやすいので、目的外作物の植付を控えます。また、ほ場の周囲にソルガムなどの障壁作物を植えると有効です。
- ② 施設栽培では成虫の侵入防止のため、開口部に防虫ネットを張ります。目合いは0.5mm以下をお奨めします。
- ③ 施設栽培では収穫終了後の残渣を確実に処分し、また蒸し込みをして周辺への分散を防止します。蒸し込み期間は夏期は10日程度、春・秋は2週間程度閉め切ります。

(鳥取)



[目次へ戻る](#)

お役立ちプチ情報

シリーズ「害虫の姿」(その4: 稲の害虫)

・アカヒゲホソミドリカスミカメ

カスミカメムシ科：成虫は淡緑色で細長く、体長は約6mm。頭部は前方にとがって突き出し、触角は淡橙色で長い。稲の開花が始まると周辺の発生地から水田に飛来し、稲の穂に集まって糊に口先を差し込んで汁液を吸収する。登熟初期に加害されると、しいな（もみ殻だけで中身がない米）や屑米が多くなり、登熟中期以降に加害されると、典型的な斑点米となる。



・クモヘリカメムシ

ホソヘリカメムシ科：成虫は黄緑色で体長は約16mmである。成虫及び幼虫は共に登熟初期から後期まで加害するが、特に乳熟期を好み、この時期に加害されると青立症状になり、しいなや屑米が多くなり、多発した水田では収穫が皆無になる場合もある。稲に移る前には水田周辺のみヒシバ、ヒエ類などイネ科雑草に群生しているのが観察される。



・シラホシカメムシ

カメムシ科：成虫は体長5~7mmの丸っこい体で淡褐色の地に小さな黒点がある。体の中程の両側に黄白色の紋がある。よく似たカメムシにトゲシラホシカメムシがある。トゲシラホシカメムシでは前胸部の両側に棘があるが、本種では棘はない。登熟初期から後期まで稲を加害し、斑点米を発生させるが、斑点は比較的小型である。



・ホソハリカメムシ

ヘリカメムシ科：成虫は体長9~11mmで橙黄褐色をしている。前胸背の両側に側角が鋭く突出している。背中部分には黒色の点刻が多い。水田近くのイネ科雑草やスギ、ヒノキの樹冠部で越冬し、4月頃から水田近くの雑草に移動する。稲が出穂すると水田に飛来し、穂から吸汁する。稲が刈り取られるとイネ科雑草に移動し、越冬に入る。



(山脇)

[目次へ戻る](#)

農薬登録情報

6月26日、7月2日、7月10日の主な適用拡大の内容です
 詳細はここをクリックしてください。

<http://www.i-nouryoku.com/prod/tekiyou/2013.html>

○殺菌剤

薬剤と変更日時	変更項目	適用作物	変更前	変更後
プライア水和剤 (2013/7/10)	適用病害追加	だいず	灰色かび病 菌核病	灰色かび病 菌核病 紫斑病
ベネセット水和剤 (2013/7/10)		ぶどう	べと病	べと病 晩腐病 黒とう病

○殺菌剤及び殺虫・殺菌剤 (2013/7/2)

薬剤	変更項目	適用作物	変更前	変更後		
ブラシン水和剤	使用時期変更	稲	収穫30日前	収穫7日前		
ブラシン粉剤DL			収穫21日前	収穫7日前		
ブラシンゾル						
ブラシンフロアブル						
ブラシンジョーカー粉剤DL						
ブラシンドアントツH粉剤DL						
ブラシンドアントツ粉剤DL						
ブラシンドアントツフロアブル						
ブラシントレボン粉剤DL						
ブラシンバリダフロアブル					収穫21日前	収穫14日前
ブラシンバリダゾル						
ブラシンバリダ粉剤DL						
ブラシンキラップフロアブル						
ブラシンキラップ粉剤DL						
ブラシンジョーカーフロアブル						
ブラシントレバリダ粉剤DL			収穫30日前	収穫21日前		
ブラシンバリダジョーカー粉剤DL						
ブラシントレバリダ水和剤						
ブラシントレボン水和剤						

○除草剤

薬剤と変更日時	変更項目	適用作物	変更前	変更後
トレファノサイド乳剤 (2013/6/26)	使用時期変更	小麦	一年生イネ科雑草（北海道を除く全域）における使用方法の「中耕除草後（雑草発生前）但し、収穫45日前まで」	一年生イネ科雑草（北海道を除く全域）における使用方法の「生育期（雑草発生前）但し、収穫45日前まで」
		麦類 (小麦を除く)		

(山脇)

[目次へ戻る](#)

ひまわり農園奮闘記

東京は梅雨明けが早く、毎日暑い日が続いています。さて、6月の農園の状況を作業日誌から掲載します。

6月8日: トマト、きゅうり、なすに追肥する。トマト、きゅうりの側枝を麻紐で支柱に固定する。鳥害防止にトマト、きゅうりにネットをかぶせる。

6月15日: 残り少なくなっただいこん(写真-1)を収穫する。トマトを美味しくするには土壌を乾燥気味に栽培するのだが、乾燥し過ぎるとカルシウムを根が吸収出来ずに、尻腐れが発生する。そんな場合はトマトが真っ赤になる前に収穫するとよいそうだ。

6月18日: 雨が降りそうなので、妻とふたりで早朝5時に農園に出掛け、ばれいしょ(キタアカリ、男爵)掘りをする。収穫量が思いのほか多くて、早速、蒸かして食べるとホクホクとして美味しい。

6月22日: とうもろこしは2つ実が付くが、下段の実はやングコーンとして、サラダにして食べるとシャキシャキとして美味である。トマト、なす、きゅうりなどを収穫するが、そろそろきゅうりは中休み。トマトは一房に4個付けている。園主さんからは3個にするように指摘があったが、大きいトマトより小ぶりの方が我が家では食べやすい。きゅうり、トマトは草丈が支柱よりも長く伸びてきたので、先端をピンチ(摘心)する。おかひじきは全て収穫して、一部は植木鉢に移植してベランダで楽しむ。

6月23日: とうもろこしの実が大きく膨らんできたので、カラスなどの鳥害防止用に水切りネット(写真-2)を被せる。きゅうりはうどんこ病が多発し、被害の多い葉は摘み取る。すでに次の新しい蔓が伸びてきて、またすぐに収穫出来そうだ。

6月29日: 待望のえだまめ(写真-3)と、とうもろこしを収穫する。早速、朝どりのとうもろこしを茹でたところ、甘くて美味しい! また、えだまめも美味しく、ピールがよけいに進む。秋野菜の準備のため、ばれいしょ、だいこんなどの収穫跡を耕して、畝を平にする。

7月5日: 秋作の講習会と作付け(写真-4) ねぎ(品種:西田)一列23本計46本、畝のところをしっかりと踏み固めてから鍬の幅に溝を掘る。東側斜面(さといも側)に太い順に植え付ける。さといもの丈が高くなるので日陰にならないように太い方を植える。散水して溝を掘ると崩れにくい。垂直に植えた方が曲がりにくい。1ヶ月ぐらいしたら堆肥と肥料を入れる。ねぎは追肥で育てていく。

空心菜(えんさい): 土壌消毒(ネマトリン)を畝全体に施す。種をひと穴に5粒まくのは乾燥で発芽がしにくいいため。発芽するまで水をしっかりかけること。にんじん(あすべに5寸): 土壌消毒(ネマトリン)して、肥料と一緒に耕す(深さ20cm)。大雨が降ることを考えて10cmの畝の高さにする。発芽するまでしっかり灌水する。空心菜と人参は白の寒冷紗をかけ、本葉が2枚出たところで寒冷紗を外す。(私は他用があり、妻が植え付け等実施)

一口メモ: 他の区画と比べて、ピーマン、ししとうの成りが悪いので、早速園主さんに尋ねると、水が不足しているようだ。なすやピーマンは土壌水分が不足すると花落ちし、着果しないとのこと。また、肥大も劣るようだ。そこで、遅ればせながら畦間に水が溜まるほどバケツでタププリ水をかける。 <次号に続く> (古津)



写真-1



写真-2



写真-3



写真-4

空心菜(えんさい): 土壌消毒(ネマトリン)

[目次へ戻る](#)

新企画

読者からの

お便り募集!



「農家さん訪問記」の訪問農家さん募集に続き、新しく読者の皆様からお便りを募集するコーナーを設けました。今後毎月テーマを決めて募集しますので、どしどしご応募ください!

9月号のテーマ

自慢のこの一枚(写真)

募集内容

これまでご自身が撮影された写真の中で、

「これは!」と思う自信作

(画像サイズ:2メガバイト以内)

締め切り

第1回:8月31日(土)

応募方法

電子メールにお名前(ペンネーム可)、(会員の場合)会員番号、写真のタイトルとエピソード(100~400字程度)をご記入のうえ、写真を添付してお送りください。

送り先: enquete@i-nouryoku.com

ご了承いただきたいこと

- ・お一人一枚のご応募に限らせていただきます。
- ・受付は電子メールに限らせていただきます。
- ・応募の中から編集室で採用したものを掲載し、採否について個別にご連絡はしません。
- ・写真は未発表のものに限ります。また、採用作品はi-農力だよりにのみ掲載します。



[目次へ戻る](#)

~ 編集後記 ~



農家さん訪問記の取材で久しぶりに函館に宿泊しました。翌朝少し早起きし五稜郭を訪ねました。これまで函館には何回か来ていますが、五稜郭にはまだ行ったことがなく初めての見学です。

五稜郭は星形五角形の要塞で、ヨーロッパの城塞都市をヒントにして造られたものだそうです。元々は徳川幕府が安政元年(1854年)の日米和親条約に基づいて開港した箱館(明治2年から函館に変わる)に置いた箱館奉行の役所ですが、明治元年(1868年)~2年(1869年)の箱館戦争時には榎本武揚(えのもとたけあき)等に率いられた旧幕府脱走軍の蝦夷地仮政権の本拠となり、新政府軍と戦った史跡です。

この史跡を写真で見たことはあるものの、実際の姿は初めてです。興味津津です。南西側の正面から一の橋、二の橋を渡って五稜郭の中に入ると道の両側は圧倒するような石垣です。さらに、道なりに進むと広場になり、復元された奉行所がありました。五つの角の陵堡に大砲が



五稜郭

据えられた当時の様子を思い浮かべて、短時間の私の散歩は終わりました。

現在の五稜郭は早朝散歩のコースです。散歩の人、犬連れの人など多くの人と途中すれ違いました。

(鳥取)

今回の農家さん訪問記は、私にとっては最後の取材でした。それなのに取材中にぎっくり腰になってしまいました(冷汗)。取材後、函館の朝市で、どんぶりに新鮮な魚介類をたっぷりのせてガッツリ昼食の予定が、歩くのもままならない状態になってしまいました。同僚には申し訳なかったのですが早々に空港に向い函館ラーメンのランチになってしまいました。

普及部に着任して8月で丸6年4ヶ月。北海道4軒、本州5軒、四国2軒、九州2軒と13の



枝つりされたハウスみかん(大分県)と丸いズッキーニ(北海道)とパッションフルーツ(千葉県)初めての出会いでした

農家さんを訪問する事ができました。いずれの農家さんも忙しい時間を割いて下さり、作物栽培に対する熱き思いを話して下さいたにも係わらず、その一部しか記事にする事が出来ませんでした。出逢った農家さんの笑顔は今でも覚えています。どの農家さんも生き生きしていました。食材を買い求める際に、自分が取材した県・道の作物を選んで買い求めるようになりました。すっかり洗脳された感じ。記事を書くのは大変なのですが、初めて出会う農家さんからお話を伺ったり、農機具を見せていただいたり、収穫後の作業場を見せていただいたり、普段は経験できない事をいっぱい見聞きする事が出来たこと、とても幸せに感じています。みなさま、どうもありがとうございました。

また、6月のタケダウォークでは、男はつらいよの寅さんでお馴染みの柴又・帝釈天方面を歩いてきました。今年は3回しか参加出来ませんでしたが、こちらは仕事とは別のお付き合いで楽しかったです。会社を8月末で辞めて仙台に帰りますが、東京で過ごした6年、楽しい思い出をいっぱい持ち帰れそうです。



柴又・帝釈天

(手塚)

次月号の - 農力だよりは
8月30日(金)の発行予定です。
どうぞお楽しみに!!

[目次へ戻る](#)